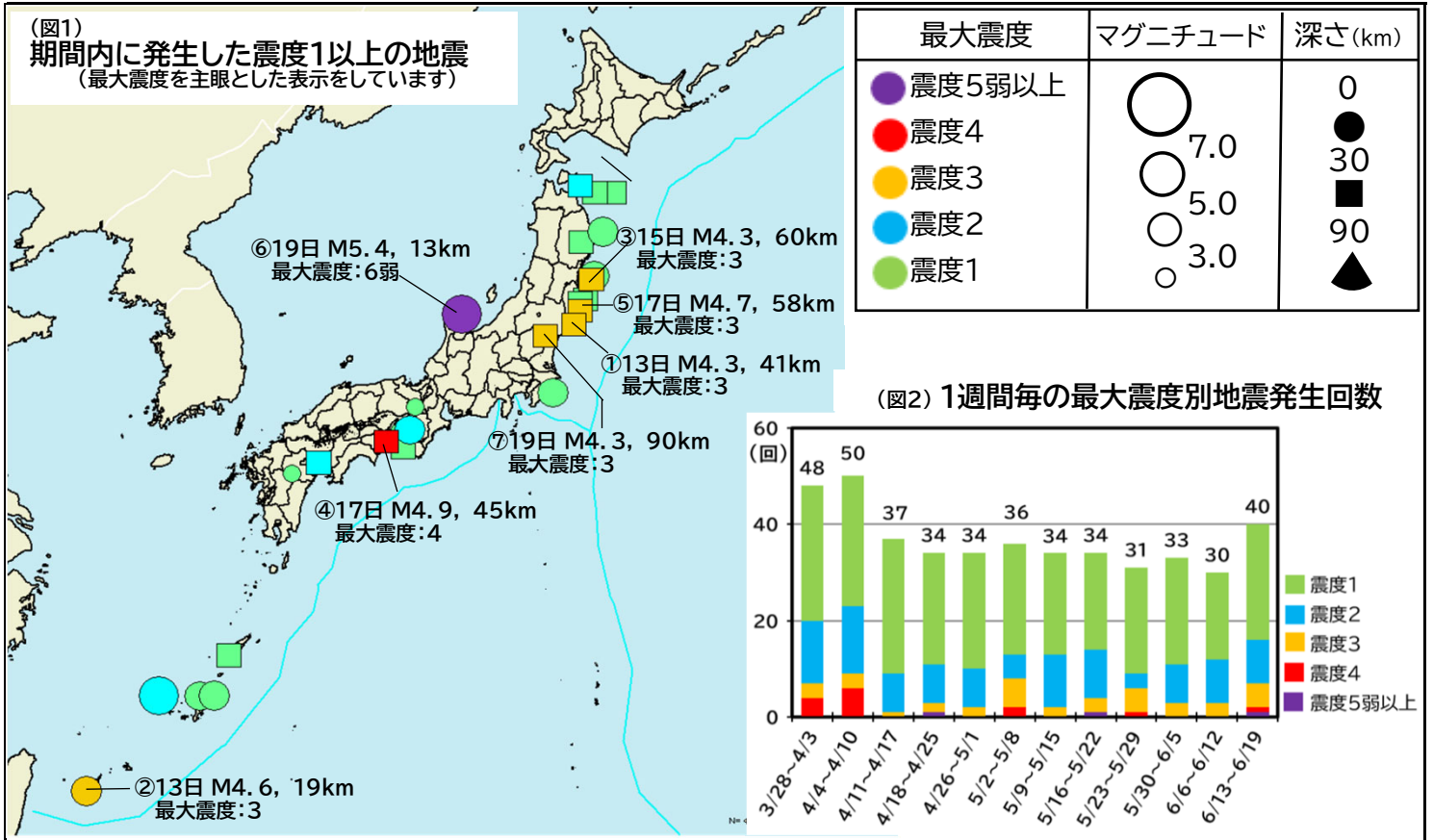
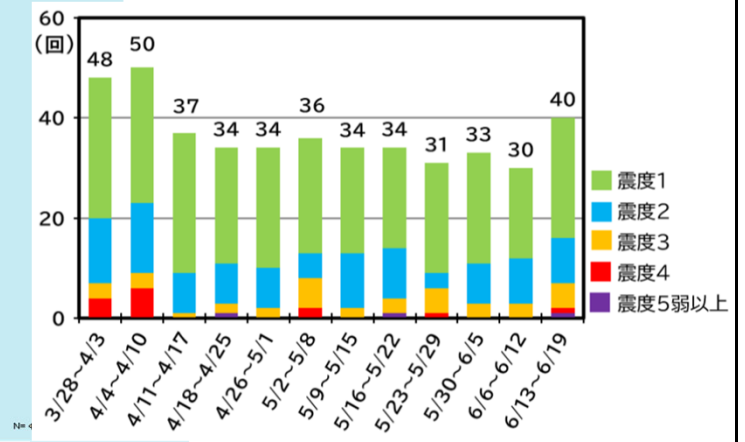


この期間の最大震度は6弱(能登半島北東部で発生)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



(図2) 1週間毎の最大震度別地震発生回数



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が40回発生。震度3以上の地震が7回。最大震度は6弱(能登半島北東部で発生)■
- ④17日00時51分に徳島県南部で発生した地震(M4.9、深さ45km)により、徳島県阿南市で震度4を観測したほか、四国地方を中心に、東海・北陸地方から中国地方にかけて震度3~1を観測。この地震は、四国沖の南海トラフから陸側のプレートの下に沈み込んでいるフィリピン海プレートの内部で発生。
- ⑥19日15時08分に石川県能登地方で発生した地震(M5.4、深さ13km)により石川県珠洲市で震度6弱を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度5弱~1を観測。この付近では、2020年末から地震活動が活発になっており、2020年10月から昨日までに震度1以上を観測する地震が160回を超えている(トピックス参照)。

トピックス

■ 石川県能登半島北東部の地震活動 ■

- ・この付近では、2018年頃から地震回数が増加傾向となり、2020年末から地震活動が活発になった。2020年10月からは震度1以上を観測する地震が続いており、今年3月から毎月15回以上発生する状況が続いている(図3参照)。
- ・この付近で発生している地震活動は、4つのエリアに大別され、現在は④と③のエリア内の活動が活発(図4参照)。
- ・今回の地震の規模(M5.4)はそれほど大きくないが、震源の深さが浅いため局所的に大きな震度となった。
- ・昨年9月16日にも最大震度5弱を観測する地震(M5.1、深さ13km)が④のエリアで発生している。
- ・今後も、地震活動が活発な期間と、静かな期間を繰り返しながら、しばらくの間、このような地震活動が続くおそれがあります。
- ・今回と同じような強い揺れを伴う地震が発生するおそれもあるので、しばらくの間、揺れへの警戒が必要です。
- ・寝室などに倒れやすい家具が無いか確認し、倒れやすい家具がある場合には壁や柱などに固定するなど、自分でできる点検と対策を進めましょう。事前の対策が被害を少なくします。

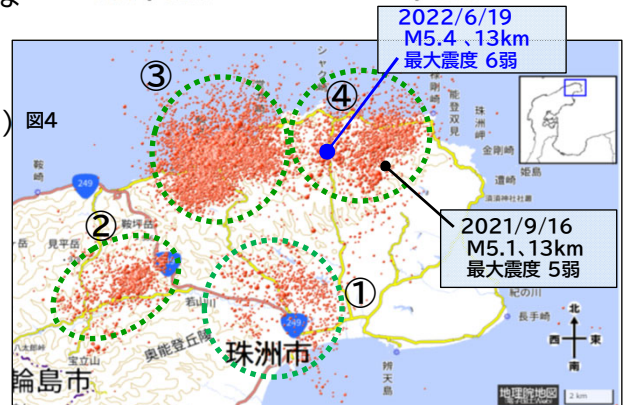


図4: 2020年10月以降に発生した地震(M≥1.0)→